

製品名: 3 β -HSD7 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab06321**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	41kDa

抗原情報

遺伝子名	HSD3B7
別名	HSD3B7; 3 beta-hydroxysteroid dehydrogenase type 7; 3 beta-hydroxysteroid dehydrogenase type VII; 3-beta-HSD VII; 3-beta-hydroxy-Delta(5)-C27 steroid oxidoreductase; C(27) 3-beta-HSD; Cholest-5-ene-3-beta; 7-alpha-diol 3-beta-dehydrogenase
遺伝子 ID	80270.0
SwissProt ID	Q9H2F3
免疫原	抗血清はヒト HSD3B7 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 121-170

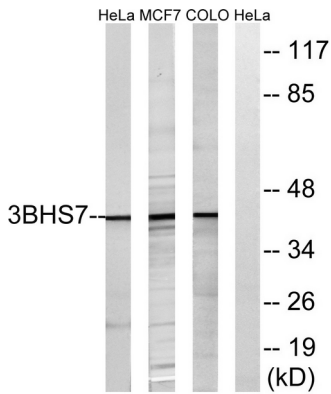
背景

この遺伝子は、コレステロールから胆汁酸を合成する初期段階に関与する酵素をコードしており、短鎖脱水素酵素 / 還元酵素スーパーファミリーに属します。コードされているタンパク質は膜結合型小胞体タンパク質であり、7 α -加水分解ステロール基質に対して活性を示します。この遺伝子の変異は、先天性胆汁酸合成障害と関連しており、進行性肝疾患の一種である新生児胆汁うっ滞を引き起こします。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが見つかっています。 [RefSeq 提供、2008年12月]、触媒活性: 3- β -ヒドロキシ- Δ (5)-ステロイド + NAD(+) = 3-オキシ- Δ (5)-ステロイド + NADH。、触媒活性: コレスト-5-エン-3- β -ヒドロキシ-7- α -ジオール + NAD(+) = 7- α -ヒドロキシコレスト-4-エン-3-オン + NADH。、疾患: HSD3B7 の欠陥は、先天性胆汁酸合成欠陥 1 型 (CBAS1) [MIM:607765] の原因です。新生児進行性肝内胆汁うっ滞症としても知られています。CBAS1 は、胆汁酸合成の一次性欠陥によるもので、進行性肝疾患につながります。臨床的特徴には、新生児黄疸、重度の肝内胆汁うっ滞、肝硬変などがあります。機能: 精子形成において転移因子を抑制し、その動員を防ぐことで中心的な役割を果たします。これは生殖細胞の完全性にとって不可欠です。精母細胞の減数分裂分化、生殖細胞の分化、精原幹細胞の自己複製に不可欠な役割を果たします。卵母細胞に存在することから、女性の卵形成中に同様の機能に関与している可能性が示唆されます。 piRNA 代謝プロセスを介して作用し、piRNA と Piwi タンパク質からなる複合体を形成することで減数分裂中の転移因子の抑制を媒介し、トランスポゾンのメチル化とそれに続く抑制を制御します。 Dicer に依存しないメカニズムによって生成され、主にトランスポゾンやその他の反復配列要素に由来する 24 ~ 30 ヌクレオチドの RNA である piRNA に直接結合します。細胞質内の一次 piRNA と関連し、PIWIL4/MIWI2 の核局在および二次 piRNA アンチセンスとの関連に必要である。 piRNA プロセスは、DNA メチル化の既知のメチエーターの上流で作用する。 piRNA 増幅ループに関与する。 転位因子の抑制における機能以外に、piRNA はおそらく、翻訳調節など減数分裂中の他のプロセスにも関与している。 PDGFRB、SLC2A1、ITGA6、GJA7、THY1、CD9、STRA8 などの遺伝子の発現を間接的に調節する。抑制されると腫瘍細胞の増殖を阻害する。過剰発現すると、アポトーシスを阻害し、腫瘍の増殖を促進することにより、がん遺伝子として作用する。機能: 3- β -HSD 酵素系は、すべてのクラスのホルモンスステロイドの生合成において重要な役割を果たしている。 HSD VII は、4 つの 7- α -ヒドロキシ化ステロールに対して活性である。数種類の異なる C(19/21)ステロイドを基質として代謝しない。胆汁酸の合成に関与する。経路: 脂質代謝; ステロイド生合成。配列注意: Arg と翻訳される。類似性: 3- β -HSD ファミリーに属する。類似性: アルゴノートファミリーに属する。 Piwi サブファミリーに属する。類似性: 1 つの PAZ ドメインを含む。類似性: 1 つの Piwi ドメインを含む。細胞内局在: 染色体小体に存在。減数分裂中にトランスポゾンを抑制するために必要な生殖細胞特異的な細胞小器官である減数分裂核 (P 顆粒とも呼ばれる) の構成要素と考えられる。サブユニット: DDX4、MAEL、EIF3A、EIF4E、および EIF4G と相互作用する。 EIF4E および EIF4G を含む m7G キャップ結合複合体と関連する。組織特異性: 成体精巣およびほとんどの腫瘍で発現する。、

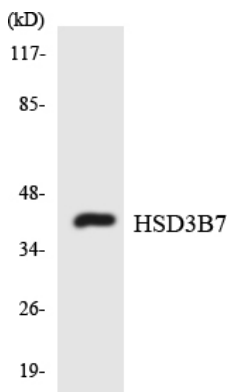
研究分野

一次胆汁酸生合成; 背腹軸形成;

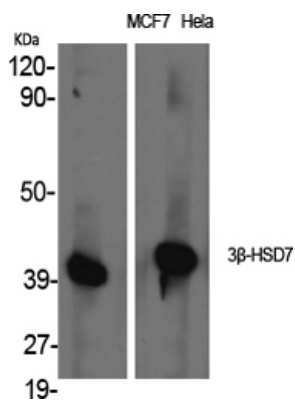
画像データ



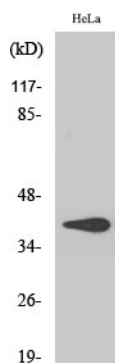
HSD3B7 抗体を用いた HeLa 細胞、MCF-7 細胞、および COLO 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



HSD3B7 抗体を使用した Jurkat 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



1: 1000 に希釈した 3β-HSD7 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析



1: 1000 に希釈した 3β-HSD7 ポリクローナル抗体を用いた COLO205 細胞のウェスタンブロット解析